



社団法人

海外と文化を交流する会

(社) 海外と文化を交流する会会報

2005年6月発行(3か月1回発行)

第27号

”知と心”の繋がりに文化の原点を求めて

日本を理解し日本で学ぶ留学生への支援 貧しい国々での医療活動を支援 各国大使館との協力などによる文化講演会の主催

事務局 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-27-6 パイナル内 TEL&FAX 03-3370-7654

## 巻頭詩

谷川

まど・みちお (詩人・児童文学者)

まど・みちお：明治42年山口県生まれ。台北工業卒。国際的な評価も高く、「アンデルセン賞」その他数多くの賞を受賞。著書に「ぞうさん」(ぞうさん ぞうさん お鼻が長いね.....)や、「まど・みちお詩集」「宇宙のうた」ほか多数。動物に関する詩20編は美智子皇后が英訳するなど、話題になりました。掲載の詩は、作者の快諾を得て転載しています。

いつの日だったのか  
雨の子の小さなつぶつぶたちが  
あの山の おくふかくへ  
とびおりてきたのは.....

まほうみたいに  
いま ここに でてきて

いっせいに何かを あんしょうしている  
このあんしょうが したくて  
とびおりてきたかのように.....

きばった こえが  
そろえた こえが  
はずんで はずんで すきとおって.....

天で おぼえた  
大すきな  
きらきら星の詩(し)なのだろう



まど・みちお「ぼくが ここに」童話屋より カット/松岡裕子

## 海外と文化を交流する会からのメッセージ

### 怨みに報ゆるに徳を以てす ~ ある中国上級軍人の話 ~

室井鉄衛（社団法人・海外と文化を交流する会会長）

この話は、今から六十年前、中国の北京の捕虜収容所での話です。その収容所には敗戦国の日本の部隊と、その当時、北支に在住していた多くの日本人が収容されていて、とても人間がまともに生活できる状態でないひどい環境であったそうです。そこで起こったある事実です。この話をしてくださったのは、私が若い時大変お世話になり指導を受けた鈴木幸治郎さんで、鈴木さんは戦時中、北京の同盟通信社の北支総局長をやられ、中国に詳しく、また大変中国語にも通じ、蒋介石などとも話し合った人でした。

鈴木さんも敗戦と同時にその捕虜収容所に入れられ、狭い部屋に閉じ込められました。とある日、収容所に緊張が走り、何かと注意すると、一台の司令官旗をつけた高級車が収容所の中に入ってきました。鈴木さんは中国軍の視察だと思って部屋に入っていると、しばらくして戸をたたく音がして、顔を出すと、中国軍の兵士が“司令官がおよびだから来てください”と言うのでついて行くと、立派な部屋に通されました。入って行くとそこには数人の上級軍人が坐っていて、その中の一人の軍人が立ち上がって鈴木さんに敬礼し、“お久しぶりです”と挨拶をされました。

鈴木さんは驚いて、よくその軍人の顔を見ると、かつて二十年前、日本で軍事学を勉強に来ていた青年の顔でした。当時日本には中国からかなりの若者が勉強にきており、同盟通信社の同志達が、その若者たちの生活の面倒をみたのだそうです。その高級士官はその一人だったのです。鈴木さんは早速、待遇が変わり、よい環境の部屋に移ったそうです。その軍人たちは、皆口を揃えて、あの当時本当にお世話になりましたと鈴木さんにお礼を述べたそうです。そして、その収容所に収容されていた部隊やその他の日本人も皆よい状態の扱いをされるようになったそうです。

鈴木さんはその話をしながら、まさに老子の言う“怨みに報ゆる徳を以てす”とはこのことだなどと話しておられました。私もその話を聞いて非常に心を打たれたことを覚えています。私も戦争には二年半行きましたが、何か訓練ばかりして弾が飛ぶ戦場には行きませんでした。しかしこの戦争で学友たちの多くを亡くしましたが、鈴木さんのこの話は戦争で得た教訓の一つです。

6月21日の朝日の朝刊に梅原 猛さんが“反時代的蜜語”と題して、仏教の道德の話をしていられました。大乘仏教では、布施の徳を第一の徳とする。それは財施、法施、無畏施の三種があるとして、利他の行を重んじると述べ、それに加え徳のある社会と現在の日本の状態に対して憂う文章を書かれていました。

そもそも文化とは何を言うのかが論じられますが、文化とは人間が求める理想であり、美の理想が芸術であり、秩序の理想が法律となり、国の在り方の理想が政治ということになりますが、現在の日本の在り方、姿、形はどう見ても美しいものとはいえません。唯桜が咲く景色の

みに救いがあるのは淋しい限りです。

“海外と文化を交流する会”が、約40年も続いて来たこと。そこでの色々な奉仕やサービス、それは会としての美しい行為であり、それは文化であると思えます。松岡朝さんの行為、それが会の文化としての始まりだと感じています。今日本が求められるのは、人間として、その人間の集まりとしての国、社会、仲間達の中に物心ともに美しいものを自覚し、具体化し、実現させることなのだと思います。鈴木さんの話の、中国軍人の敵国の人への取り扱いの行為もその一つの話なのだと思います。

時代は変わります。そして求められるものも変わります。そこを如何に処するかが問題なのだと思います。この会のためにも……。

## 会からの報告&お知らせ&お願い

### 2005年総会終了

平成17年度総会が、5月17日(木)、東京・銀座教会地下会議室でおこなわれました。16年度事業報告・決算報告(16年度は、きたる日豪交流年日本画展準備のためにできるだけ出費をおさえた結果、より多く次年度に繰り越すことができた)、17年度事業計画案・予算案(今後、留学生を含む学生同士の交流活動が期待される。日豪交流記念事業に伴う費用準備の必要性が大きいので、事業計画予算は細かくわずに「国際交流事業費」とする)、その他8前年に引き続き、再検討も含め、事業を推進していくこととした)以上の案件を採決の結果、全員一致で承認されました。以下が、決算予算・事業計画です。

#### 平成16年度収支決算書(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

収入の部		(単位:円)			
科目	予算額	決算額	予算との対比	備考	
1 会員収入	660,000	500,000	160,000		
正会員会費	610,000	490,000	12,000	10,000円×47名 5,000円×4名	
賛助会員会費	50,000	10,000	40,000	5,000円×2名	
2 事業収入	2,880,000	2,437,405	442,595		
つどい	80,000	11,000	69,000	キッチン交流会費	
留学生奨励金	0	0	0		
宮崎亮医師支援	0	0	0		
会報発行	0	0	0		
国際交流事業	0	0	0		
講演会・音楽会	2,800,000	2,426,405	373,595	コンサート収益	
東京ハルモニア室内 オーケストラ支援	0	0	0		
日本テレマン協会支援	0	0	0		
その他	0	0	0		
3 寄付金収入	50,000	32,000	18,000	3件	

4 受託金収入	0	0	0
5 資産収入	1,000	21	979
当期収入合計 (A)	3,591,000	2,969,426	621,575
前年度繰越収支差額	3,203,924	3,203,924	
収入合計 (B)	6,794,924	6,173,350	621,575

#### 支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	予算との対比	備考
1 事業収入	2,376,000	1,924,116	451,884	
つどい	200,000	14,000	186,000	
留学生奨励金	400,000	130,000	270,000	
宮崎亮医師支援	100,000	100,000	0	
会報発行	146,000	80,730	65,270	
国際交流事業	50,000	94,297	44,297	
講演会・音楽会	1,430,000	1,480,089	50,089	
東京ハルモニア室内				
オーケストラ支援	0	25,000	25,000	
日本テレマン協会支援	0	0	0	
その他	50,000	0	50,000	
2 事務費	1,110,000	855,213	254,787	
法人都民税	70,000	70,000	0	
役員報酬	0	0	0	
人件費	300,000	220,000	80,000	
会議費	150,000	96,252	53,748	
旅費・交通費	50,000	0	50,000	
通信費	150,000	91,047	58,953	
事務所費	390,000	377,914	12,086	
家賃	0	0	0	
水道光熱費	0	0	0	
図書・印刷	50,000	32,020	17,980	
消耗品費	60,000	47,881	12,119	
交際費	140,000	88,703	51,297	
H.P.維持費	100,000	157,965	57,965	
雑費	40,000	51,345	11,345	
3 予備費	100,000	0	100,000	
当期支出合計 (C)	3,586,000	2,779,329	806,671	
当期収支差額 (A) - (C)	5,000	190,097	185,097	
次期繰越収支差額				
(B) - (C)	3,209,712	3,394,021	185,097	
支出合計	6,794,924	6,173,350	621,574	

#### 平成 17 年度収支予算書(平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで)

#### 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増 減	備考
1 会員収入	660,000	660,000	0	
正会員会費	610,000	610,000	0	10,000 円 × 59 名 5,000 円 × 4 名
賛助会員会費	50,000	50,000	0	
2 事業収入	1,640,000	2,880,000	1,240,000	
つどい	40,000	80,000	40,000	つどい 1 2 回 つどい 2 2 回
国際交流事業	0	0	0	
留学生奨励金	0	0	0	
宮崎亮医師支援	0	0	0	
会報発行	0	0	0	
講演会・音楽会	1,600,000	2,800,000	1,200,000	コンサート収益 4,000 円 × 400 人

東京ハルモニア室内			
オーケストラ支援	0	0	0
日本テレマン協会支援	0	0	0
その他	0	0	0
3 寄付金収入	50,000	50,000	0
4 受託金収入	0	0	0
5 資産収入	1,000	1,000	0
当期収入合計(A)	2,351,000	3,591,000	1,240,000
前年度繰越収支差額	3,510,000	3,204,712	305,288
収入合計(B)	5,861,000	6,795,712	934,712

**支出の部**

科目	予算額	前年度予算額	増減	(単位：円) 備考
1 事業収入	2,016,000	2,376,000	451,884	
つどい	120,000	200,000	80,000	
国際交流事業	500,000	50,000	450,000	
留学生奨励金	400,000	400,000	0	
宮崎亮医師支援	100,000	100,000	0	
会報発行	146,000	146,000	0	
講演会・音楽会	700,000	1,430,089	730,000	出演者 360,000 会場費他 340,000
東京ハルモニア室内				
オーケストラ支援	0	0	0	
日本テレマン協会支援	0	0	0	
その他	50,000	50,000	0	
2 事務費	1,110,000	1,110,000	0	
法人都民税	70,000	70,000	0	
役員報酬	0	0	0	
人件費	300,000	300,000	0	書記 90,000 会報 50,000 H.P. 70,000 経理 80,000 その他 10,000
会議費	150,000	150,000	0	
旅費・交通費	50,000	50,000	0	
通信費	150,000	150,000	0	
事務所費	390,000	390,000	0	
家賃	0	0	0	
水道光熱費	0	0	0	
図書・印刷	50,000	50,000	0	
消耗品費	60,000	60,000	0	
交際費	140,000	140,000	0	
H.P.維持費	100,000	100,000	0	
雑費	40,000	40,000	0	
3 予備費	100,000	100,000	0	
当期支出合計(C)	3,226,000	3,586,000	360,000	
当期収支差額(A)-(C)	875,000	5,000	880,000	
次期繰越収支差額				
(B)-(C)	2,635,000	3,209,712	574,712	
支出合計	5,861,000	6,795,712	934,712	

平成 17 年度事業計画書 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

1. “つどい” (定款 4 条 2 項による)

(a) “つどい” 【21 世紀を語ろうよ】

昨年度に続き、これからの日本の進むべき道を探ることを目的とすると共に

会員相互の親睦を兼ねて“つどい”を4回程度開催したい。

(b) “つどい” 【留学生との交流】

会員の希望にこたえ、当会が支援している留学生を中心に交流の機会を持ち、相互理解を深める。

2. 留学生への支援奨励金（定款4条6項による）  
昨年に引続き教育者になることをめざす、将来性のある留学生に奨励金を支給する。
3. 宮崎亮医師支援（定款4条6項による）  
引続き宮崎医師の活動を支援する。当会では「文化」を芸術、教育、健康がバランスよく組み合わさったものと理解している。従って宮崎医師を支援することが厚生省関連の事業であるとはみなしていない。
4. 会報の発行（定款4条6項による）  
年4回会報の発行を行う。
5. 国際交流事業（定款4条2項による）  
1976年にオーストラリアに寄贈した日本画巨匠による25点の作品の再活用の道として、2006年に行われる日豪交流年の行事に参加することをめざす。
6. 中野振一郎氏によるチャリティー・コンサートの開催（定款4条6項による）  
12月に中野振一郎氏(チェンバロ)によるチャリティー・コンサートを行い、会の活動の報告とPRの機会とすると同時に、事業資金の一助としたい。  
賛助出演として西山昌子(バイオリン)と飯靖子(オルガン)を予定している。
7. 東京ハルモニア室内オーケストラ支援（定款4条6項による）  
演奏ばかりでなく、種々の文化活動でも高く評価されていることを認め、支援する。
8. 日本テレマン協会支援（定款4条6項による）  
演奏ばかりでなく、種々の文化活動でも高く評価されているため、東京における演奏活動に協力する。

## 留学生との「キッチン交流」

留学生と会員そして日本人学生が一緒になって、「食べる」ことから「文化」は始まる、をキーワードにして、交流をしようという企画が進行しました。こんどは東京・青山の一戸建てでのキッチンをつかい、交流しようというわけです。05年3月26日におこなわれたこの「キッチン交流」の感想を、参加くださった方々からいただきました。

### 初めて留学生との「キッチン交流」に参加して

渡辺いつ子（海外と文化を交流する会会員）

キッチン交流のお誘いを受け、喜んで「出席」とお返事をしたものの、いざ日が迫ると不安になり、どうしようかしらと思いつつ夕食の後片付けをしていましたら、会の本田さんという方からお電話をいただきました。初めてとは思えぬ程、親しみが感じられる方でほっとしました。お蔭様で当日は気楽な気分で行くことができました。

会場で入り口が分からずウロウロしていましたが、角谷さん（後で判ったお名前）がお声をかけてくださり、案内されて部屋に入りました。明るく広々としたリビング、使い勝手のよい清潔なキッチンのある会場でした。その日使う材料は前以て用意されていて、留学生ご要望の手巻き寿司の食材から果物まで保存袋に程よく、使い易いように整理され、ダンボールに入れて届けられました。それを洗ったり、切ったり盛り付けるのを、先程お声を掛けて下さった角谷さんと楽しくお手伝いをさせて頂きました。

学生さん達はその間、本田さんのご指示できれいに花も飾り、テーブル・セッティングができたところに、盛り付けられた食材が並べられ見事でした。

和やかな雰囲気の中、会食が始まり、本田さんの進行で室井先生、ギッシュ先生の素晴らしいお話を伺いました。又、留学生、日本の学生達の目標に向かってしっかりした考えを持ち、行動しているお姿に感心しました。このような学生達に支援をすることは意義あることだと思いました。でも「生活のために、アルバイトで今日は来れない留学生がいることも忘れてはなりません」と先生方も仰っていました。

この会の方々は、お一人お一人が魅力的で、素敵で、チームワークの良さにも感心致しました。私の様な者にも、お優しく声を掛けてくださったり、さりげなくお気遣いくださってとても嬉しく勇気づけられました。ご立派な先生方、留学生、日本の学生、親切で優しい担当の皆様とご一緒でき、ただ、ただ、感謝感激のあらしで、近來すっかり忘れていた緊張感と感動を味わせていただいたひとときでした。

これまでに私は他の団体にも参加してみましたが、この様な感動を味わった会は初めてでした。これぞ本当のボランティア精神が生きている会だと思います。これから少しずつ学ばせて頂き、皆様についていけるよう努力致します。今後共どうぞよろしくご指導ください。

皆様に又お目にかかれる日を心から楽しみに致しております。ありがとうございました。

### 「留学生とのキッチン交流」に参加して

高橋麻由子（学生） / 八幡香寿美（学生）

先日はあのような素晴らしい会に参加させて頂き、本当にありがとうございました。中国からの留学生、丁さん、田さんとも沢山お話させて頂き、留学生が日本でどのような毎日過ごしているのかを聞き、我々も常に勉学に励みながらも、この様な機会を大切にしていきたいと思いました。これからもこの会が末長く続くよう私達もお手伝いさせて頂きください。

## 日本画プロジェクト

いまから 30 年ほどまえ、「社団法人・海外と文化を交流する会」は、奥村土牛・片岡球子・上村松篁・橋本明治ほか当代一流の 25 作品を、オーストラリアと親交を深められたら、という願いをこめて、寄贈しました。その後もニュージーランドに同様に 16 点を寄贈、海外と文化を交流する会の注目される活動のひとつです。

2006年、日豪交流年になります。そこで、かつて寄贈した現代日本画 25 点を記念展として開催してほしい、と要望をしています。ふだんはメルボルンに保管してあるので、なかなか目に触れることはありません。本格的に決まり次第、ご報告します。豪州メルボルンへおいでのときに、ご覧くださいませば幸いです。

## 12月9日、中野振一郎チャリティコンサートのお知らせ

毎年おこなっている社団法人・海外と文化を交流する会主催の「チャリティコンサート」は、ことし2005年はすこし遅くなりましたが、12月9日（金）に、港区赤坂の霊南坂教会で開催します。開演は18時。クリスマスもまぢか、人気のバザールでプレゼントはいかがでしょうか。

演奏はチェンバロの世界的演奏家・中野振一郎氏です。共演は、東京ハルモニア室内オーケストラのバイオリニスト西山昌子さん、パイプオルガンの飯靖子さん。

楽しいコンサートになるでしょう。チケット（予価）は当日4,500円、前売り4,000円です。お問い合わせは海外と文化を交流する会まで、ファクスあるいはe-mailでどうぞ。

## 寄付をいただきました

次の方々から当会へ寄付をいただきました。ありがとうございました。有意義に遣わせていただきます。

山縣絹子さま

## 会費納入のお願い

2005年度の年会費納入をお願い申し上げます。2003年度2004年度の年会費未納の方は、ぜひともご納入ください。高く評価されている当会の活動は、皆さまのご支援あってこそなのです。

郵便振替 00130-2-366249 社団法人海外と文化を交流する会  
銀行振込 東京三菱銀行渋谷支店（普）2266599 海外と文化を交流する会  
会費 10,000円（正会員） 5,000円（特別賛助会員） 3,000円（学生会員）

海外と文化を交流する会事務局  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-27-6 八ッ木ビル内  
TEL&FAX 03-3370-7654 e-mail:jimukyoku@kaigai-bunka.org

